

2019年6月6日

東急電鉄とソニーが写真家・森山大道氏と共に開催する、次世代クリエイターとのアート共創プロジェクト

「SHIBUYA/森山大道/NEXT GEN」を始動

東京急行電鉄株式会社

当社は、2019年6月6日、ソニー株式会社(以下、ソニー)と、世界的に活躍する写真家・森山大道氏との共創プロジェクト「SHIBUYA / 森山大道 / NEXT GEN(ネクストジェン)」(以下、本プロジェクト)を立ち上げ、2019年8月に渋谷駅周辺で開催するメインイベントとなるアート展示の企画展(以下、本企画)について、オフィシャルサイト(<https://www.daido-shibuya.com>)での情報発信を開始します。

本企画は、渋谷駅周辺において大規模再開発プロジェクトを推進し、「エンタテインメントシティ SHIBUYA」の実現を目指す当社と、渋谷の街を訪れる人の好奇心を刺激する情報発信拠点“ソニースクエア渋谷プロジェクト”の開設など、エンタテインメントとテクノロジーの融合や、インタラクティブな参加型の体験などの場を提供するソニー、そしてストリートスナップの第一人者で世界的な写真家の森山大道氏が、公募により発掘する未来を担う次世代クリエイター(NEXT GEN)とともに、渋谷の街でヒトと街、アートなどが融合する、世代やジャンルを超えた表現の場を創り出します。

本プロジェクトの開始にあたり、ソニーは、6月6日(木)からソニースクエア渋谷プロジェクトにて、新進気鋭の若手フォトグラファー8名が渋谷を舞台に制作した新作を日替わりで展示する「TODAY is -Next Generations of DAIDO MORIYAMA-」を開催するとともに、8月の本企画をとともに創りあげていく次世代クリエイターの公募を開始します。公募は、森山大道氏などが審査を行い、選出者は、本企画への参加のほか、米国 ニューヨークの「Sony Square NYC」などでの作品展示の機会も得ることができます。詳細は、ソニー「SHIBUYA / 森山大道 / NEXT GEN」サイト(<https://www.sony.co.jp/daido-shibuya/>)をご覧ください。

当社は、今後もさまざまな企画を通じて、渋谷の情報発信力を高め、いつ訪れても旬な情報に出会えるような、「渋谷ならではの」体験ができる街にすることで、「エンタテインメントシティ SHIBUYA」の実現を目指します。本プロジェクトの詳細は別紙の通りです。なお、本企画の詳細については7月中旬頃発表予定です。



© Daido Moriyama photo foundation Courtesy of Akio Nagasawa Gallery

※本日、同プロジェクトに関するリリースをソニー株式会社からも配信しています。予めご了承ください。

以上

(

【別紙】

「SHIBUYA/森山大道/NEXT GEN」プロジェクトについて

1. 「SHIBUYA/森山大道/NEXT GEN」プロジェクト概要

・開催期間: 2019年6月6日(木)～9月初旬(予定)

・開催場所: 渋谷駅周辺

・オフィシャルサイト: <https://www.daido-shibuya.com>

・内 容

東急電鉄、ソニー、写真家・森山大道氏が、次世代クリエイターとともに、ヒトと街、アートなどが融合する、世代やジャンルを超えたアート展示を創り出します。

- ① 6月6日(木)～7月29日(月)にソニースクエア渋谷プロジェクトで開催される「TODAY is -Next Generations of DAIDO MORIYAMA-」
 - ② 8月に渋谷で開催される「SHIBUYA / 森山大道 / NEXT GEN」メインイベント
 - ③ 8月初旬～9月初旬にソニースクエア渋谷プロジェクトで開催される公募で選ばれた次世代クリエイターの作品展示
- ※8月の企画展の開催時期および、企画の詳細は7月中旬頃、オフィシャルサイトにて公開します。

2. 公募概要

・募集開始日: 6月6日(木)

・対象年齢: 18歳～25歳

※公募の詳細については、オフィシャルサイトをご覧ください。

3. 第1弾イベント「TODAY is -Next Generations of DAIDO MORIYAMA-」

・開催期間 : 6月6日(木)～7月29日(月)

・会 場 : ソニースクエア渋谷プロジェクト(東京都渋谷区神南1-21-3渋谷モディ1階)

・時 間 : 11:00～21:00

※ 6月6日(木)のみ13時から一般オープン

・料 金 : 無料

・内 容 : 新進気鋭フォトグラファー8人が本プロジェクトのために渋谷を舞台に独自の視点で制作した新作、フォトグラファー自身による作品に関する音声ガイドが期間中毎日アップデートされる展示。

<森山大道氏プロフィール>



1938年大阪生まれ。写真家・岩宮武二、細江英公のアシスタントを経て64年独立。写真雑誌などで作品を発表し続け、67年「にっぽん劇場」で日本写真批評家協会新人賞受賞。68-70年には写真同人誌『プロヴォーク』に参加し、ハイコントラストや粗粒子画面の作風は“アレ・ブレ・ボケ”と形容され、写真界に衝撃を与える。以降、近年に至るまで国内外の美術館での展覧会多数。2019年ハッセルブラッド財団国際写真賞受賞。主な写真集に『にっぽん劇場写真帖』(1968)、『写真よさようなら』、『狩人』(1972)、『光と影』(1982)などがある。個人写真誌『記録』は1972年のNo.1に始まり、73年のNo.5で一時中断～2006年11月のNo.6から復刊し、現在も継続出版中。最新号はNo.41。近年は『無言劇』、『Pretty Woman』(2017)、『Tights in Shimotakaido』、『Lips! Lips! Lips!』(2018)などを出版。

以 上